

年	児童の実態	授業改善の視点とその方策	2月検証
5	<ul style="list-style-type: none"> 調理や裁縫の学習に対する関心が高く意欲的に取り組む。家庭で調理や裁縫の道具を使ったことのある児童と初めての児童で、多少個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習の事前事後の指導から、学習内容を生活に生かすことができるように働きかける。 初めて活動に取り組む児童が適切にできるよう、基本事項を丁寧に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活につなげるよう意識付けることで、学習したことを家庭で生かす児童が多くいた。 安全に配慮し、得意でない児童には個別指導をすることで基礎事項を定着させた。
6	<ul style="list-style-type: none"> 調理や裁縫、実習に意欲的に取り組む。家庭で実践している児童もいる。快適な生活についての知識や栄養素など基本的な学習に関しても興味関心をもって取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備計画の段階から、自分たちの力でできるよう指導・支援していく。 学習したことを家庭でも実践するよう学習カードなどを使い働きかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備計画・買い物・調理の仕方なども自分たちで考えて取り組むことができた。 学習したことを家庭で実践し、家族からのコメントをもらうことで、楽しみながら力を身に付けることができた。